

<真剣味>79

2017. 11. 8

2017年度のリトルシニア・リトルリーグの卒・入団式が行われました。

11月5日(日)新潟市江南区文化会館で行われました。監督は呼名で緊張のあまり心臓がバクバクしていました。卒団生8名、入団生8名(うち1名一欠席)は冷静に、そして堂々とした態度で臨んでいました。さらに今回は送ることばを我がチームの2年生の主将が、そして修了者謝辞も我がチームの3年生の主将が担当しました。あの緊張した空気の中、落ち着いた態度で話していました。本当に素晴らしいことです。3年生ありがとうございました。1年生これから頑張りましょう。その様子が翌日のスポーツニッポンに掲載されておりました。

『野球ができることに感謝し、本当の野球小僧になろう!!』

「1分間スピーチ」

『ゴミ拾いを通して、学んだこと・分かったこと・協力したこと!』

<O君>…ゴミ拾いを通して分かったことがあります。ゴミ拾いをしている時は、多い所、少ない所がありました。少なかったり、無かったりする所は誰かがやっているのきれいになっています。ゴミの多い所や全く手をつけられていない所は、やる人が少なかったり、いなかったりということです。僕は先程述べた「誰か」になろうという気持ちが必要ではないかと思いました。地域の人や周りの人に呼び掛けても限界があります。せめて自分達はその誰かになることが必要だと思いました。自主的にやる気持ちを持って習慣づけられたらと思いました。

野球をする上で、環境を整えてくれる人の存在が必要だと分かりました。家族、練習場所を作ってくれる理事の方々への感謝を忘れず野球をしていこうと思いました。

<A君>…O視野を広くして行動することは大切。町のどこにゴミがあるか分からない。常に周りに目を配って活動した。初めはゴミを見落としていたが最終的に周りを見て拾えた。O協力することは重要。落ちていたゴミは沢山あり、みんなで協力して活動できた。野球も協力し合いながらやらないとできない。今後お互いに助け合って活動していく。

『自分の力を発揮するために…!』

<M君>…試合で自分のスイングをするためにしたいことは3つあります。

①ひとスイングひとスイング丁寧に振ることです。しっかりと今まで習ったことを頭に入れて振りたい。そうしなければ意識していない時のスイングを身体で覚えてしまい、いいスイングができないからです。②試合を想定することです。試合では緊張します。緊張しないことはないと思うので練習からしっかりと緊張感を持って取り組んでいきたい。③確認です。少し意識されていないところや新しく見つけた自分の課題があると思います。そこでしっかりと確認をとり修正が必要なのは修正し、よりよいスイングを目指したいです。このことを確実に実施し、自分の力を発揮したいです。

<K君>…今、自分が野球のプレーで一番力を発揮できていないと思うことは守備です。投手と一塁を守ることが多いです。特に一塁ではゴロを横で捕ろうとしたり、腰が高くてトンネルをしたりすることが多いです。それはまだ自分の下半身の力が足りていないからだと思います。これからは股関節を柔らかくして、腰を落としてボールを捕りたい。また沢山走って瞬発力をつけてボールの正面に入れるようにしたいです。沢山走ることスタミナもつくので投手として長いイニングを投げられるようにがんばります。

バッティングでは今2番を打たせてもらっています。これからはスイングをして自分の持ち味を生かしながら、2番として繋ぐバッティングもできるように頑張っていきます。

<I君>…自分のその力とはバッティングでミートする力と声を出すこと。まず、ミートする力を高めるためには素振りです。ピッチャーを意識して振ること、ボールを打つ時にはバットの芯に当てることを意識します。満足いく声を出すには、自分の守っている内野でも、外野とのあわせの時でも声をかけています。同じ学年でも先輩でも、チームのみんなに声をかけていきたい。試合では隣に守っている人や投手にも声をかけていきます。この2つの力を発揮できるよう頑張っていきます。ありがとうございました